

# いぬはりにこ

vol.

15



新学期用品特集

切って、描いて、仕上げにニス  
牛乳パックでコマ作り!

世代を超えて愛される絵本

「11びきのねこ」  
馬場のぼるの世界

SINCE 1966

子どもたちに  
愛され続ける教具  
Bブロック

文化作品のある風景

でこぼこの手触りが楽しい、  
石に描いた動物たち

Creator's voice

宮内ヨシオ インタビュー

透明水彩が織りなす  
笑顔いっぱいのワンダーランド

# 透明水彩が織りなす 笑顔いっぱいのワンダーランド

透き通るようなみずみずしさや、ストーリー性たっぷりの温かさ。  
イラストレーターとして活躍する宮内ヨシオさんが透明水彩で描く絵には、  
大人も子どももワクワクしてしまう、魅力いっぱいの世界が広がっています。  
東京・自由が丘にある宮内さんのアトリエをたずね、楽しいお話をうかがいました。

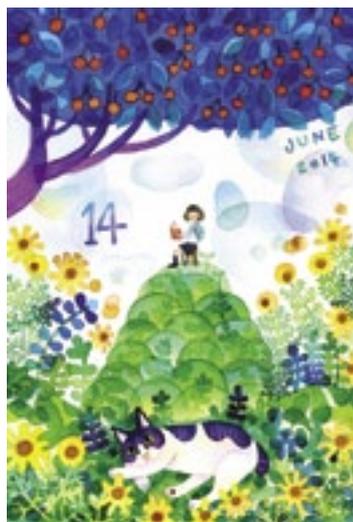
## 宮内 ヨシオ Yoshio Miyauchi

多摩美術大学美術学部テキスタイルデザイン専攻卒、1995年よりフリーランスのイラストレーターとして活動。おもに透明水彩を使用した温かな世界を表現し、雑誌、書籍、広告、ウェブサイト、CDジャケット、グリーティングカード、パッケージ、アニメーションなど、数多くの媒体で活躍中。





宮内さんの2015年オリジナルカレンダー  
季節の野菜や植物などをテーマに、やさしさと温もり  
がたっぷりのイラストが2か月ごとに描かれています。

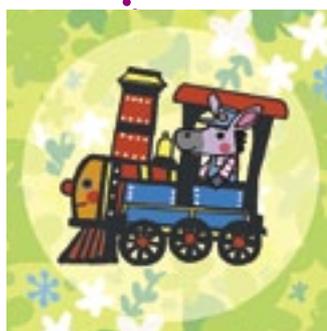
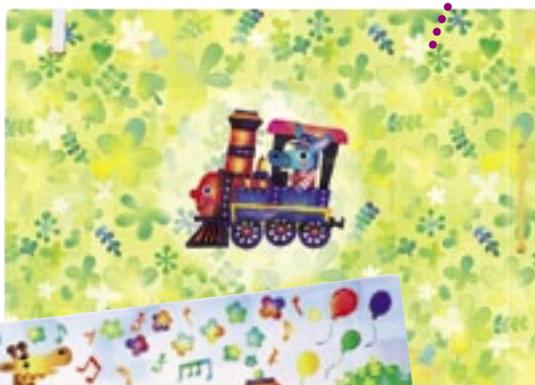


宮内さんのお嬢さんが14歳、息子さんが3歳の誕生日にプレゼントした、宮内さんの手描きイラスト。よく見ると、それぞれの絵に「14」「3」という数字が。毎年、子どもたちの好きなものや興味のあることをモチーフに、心をこめて描画。愛がたっぷり詰まっています。

—— 幼少期から絵を描くのは好きでしたか？  
「絵を描くのが好きだと初めて自覚したのは、3歳のときです。父が印刷会社を経営していたので、家の中には紙がたくさんある環境でした。いつでも自由にお絵描きできる状態だったので、テレビで見たウルトラマンや怪獣を一生懸命模写していましたね」  
—— 当時の夢は何でしたか？  
「小・中学生時代の夢は、漫画家になることでも、表紙と扉絵を描くと、もうあとが続かない。コマ割りをして同じ顔をいっぱい描くのがどうしてもイヤで……。でも、友人に『絵を描いて』と頼まれると、喜ぶ顔が見たくて、いろいろな絵を描きましたね。だからのために絵を描き、喜んでもらう……。現在の仕事の原点は当時から変わっていない気がします」  
—— 大学ではテキスタイルデザインを勉強されたのですか？  
「高校時代からデザインに興味を持ち、大学でテキスタイルデザインを専攻しました。パターンや文様など、織物のテキスタイルについて勉強したことは、いまの仕事にも役立っています」  
—— イラストレーターとして独立したのはいつですか？  
「大学卒業後、名古屋にあるインテリアの会社に就職しました。商品の制作を企画する仕事でしたが、自分には合わなくて、結局退職することに。すぐに東京に戻らず、名古屋で絵の勉強をしようと思い、27歳のときに出版や広告媒体の制作プロダクションに、イラストレーターとして入社しました。そこでいろいろな絵を描き、自分らしさを模索した結果水彩が一番だと認識しました。独立したのは1995年30歳のときです。東京に戻って事務所を立ち上げ、本格的にイラストレーションの仕事を始めました」  
—— 宮内さんにとって、絵を描くことの意義やテーマとは？  
「自分の子どもが生まれたときに、この子のために」と記念に絵を描いたら、自分の中で何かのピースが埋まるように、しっくりくるものがありました。そのときから「子どもたちのために作品を描くこと」が、自分に合っていると気がつきました」  
—— 透明水彩の魅力とは？  
「透明水彩の質感と色合いが大好きです。しみ具合やぼかし具合など、計算でない、偶然性の作るおもしろさに魅力を感じています」  
—— 園で子どもたちが絵画や工作をするときに、ひと言アドバイスをお願いします。  
「自分の好きなものを自由に描いたり、作ったりできることが一番です。子どもって、本当は何が好きなのか自分ではわからないので、それを見つけれよう、先生がフォローをしてあげられるといいですね」  
—— 今後の目標を教えてください。  
「かけがえない家族や友人を大切にしながら、あと20年間、70歳頃までは今のままのスタイルで作品制作を続けたいですね。そのあとは依頼によるものでなく、自分のための作品を自由に描いていけたらと思っています」

# ワクワクの世界を届けます！ 宮内ヨシオさんの園グッズ

まるで美しい絵本のような「おもいで」作品ホルダー。  
動物たちの楽しいリズムが聞こえてきそうな「お誕生カード」。  
子どもたちの好奇心がぐんぐん膨らみそうな「クリーンマット」。  
ジャクエツとのコラボで誕生した、とっておきの園グッズについて、  
宮内さんに制作エピソードやこだわりを語っていただきました。



下絵になる  
ラフ画



おもいで表紙A3(きしゃ)  
514円(税込)

「おもいで」作品ホルダー

透明水彩を取り入れた、宮内さんの制作工程は、まずパソコン上でラフ画を書き、それをプリントアウトして下絵とします。その下絵を水彩用の画用紙に転写し、水彩絵の具で色を塗ります。それをスキャニングしてデータ化し、パソコンで補正して完成です。

「絵柄のテーマは『動物と乗り物』。手前にある動物たちと、背景である木々や原っぱの絵は、あとで調整がしやすいよう、二枚に分けて描いています。原っぱに描かれた植物は、大学時代に勉強したテキスタイルデザインの手法を活かしています」と、制作エピソードを語る宮内さん。

「一年を通して、楽しい園生活を送れますように。そんな思いで絵を描きました」



中面の写真ホルダーや手形スペースは、ふちの部分に模様を入れて額縁のようなイメージに。子どもたちの大切なシーンを華やかにお祝いします。



お誕生カード  
(おながくたい)  
257円(税込)

## 「お誕生カード」

「おもいで」作品ホルダーと同じように透明水彩による作品です。宮内さんは「子どもたちにとって誕生日は、一年に一度の大事なイベント。みんなが笑顔いっぱいに過ごしているようすを思い浮かべながら制作しました」と制作過程を振り返ります。

一つ一つの絵が際立ち、きれいに見えるように、背景を白にしているところや、作品全体の世界観を壊さないよう、表紙の「おたんじょうびおめでとう」や中面の文字も手書きにするなど、宮内さんのこだわりと愛情がたたくさん詰まっています。

写真ホルダーや手形スペースを額縁のイメージにしたり、保管しやすいブック型にするなど、工夫を凝らしたお誕生カードです。



クリーンマット180(バス)  
17,280円(税込)



クリーンマット120(トラクター)  
12,960円(税込)



クリーンマット90(ボート)  
10,800円(税込)

## 「クリーンマット」

水彩ではなく、パソコンでイラストレーターというソフトを使って制作したもの。宮内さんの制作物ではめずらしく、アウトライン(輪郭線)がついた作品になっています。

「テーマは、乗り物」。サイズの異なる種類のマットそれぞれに統一感を持たせ、自分が家で使いたくなるような絵に仕上げました。ユーモラスなキャラクターのライオン君が「気に入る」と笑顔で語る、宮内さん。

「毎日の園生活で、このマットとともに子どもたちが元気いっぱい過ごしてくれたらうれしいですね。わが家にも2015年4月に幼稚園に上がる子どもがいます。もしかしたらわが子も、園でこのマットを使うかも……と想像すると、わくわくしてしまいます」



# 切って、描いて、仕上げにニス 牛乳パックでコマ作り!

1 まずは使うものを準備しよう

せいさく1



牛乳パック



はさみカーブ(フツソ)

723円(税込)

はさみカーブ

464円(税込)



せいさくクレヨン  
クリアラベル(16色)  
プラケース入 669円(税込)



水性クレヨンニス  
2,862円(税込)

元気いっぱいの  
年中さん3人組がチャレンジ



「せいさくクレヨン」「はさみカーブ」  
「水性クレヨンニス」を使って、造形遊びにチャレンジ!  
さあ、どんな作品ができるかな?

2 『はさみカーブ』で切り開こう

手の小さな子どもたちにとって、厚くてかたい牛乳パックを切るのは大変な作業。『はさみカーブ』は刃がカーブしているの、刃元でも刃先でもほぼ一定の力で切ることができます。牛乳パックも、小さな力でスイスイ切れます。

一定の力で切れるから、厚紙もらくらく!



牛乳パックがスイスイ切れます。



3 『せいさくクレヨン』で絵を描こう

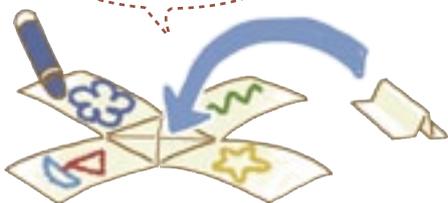
クレヨンで好きな絵を描いて自分だけのコマを作りましょう。『せいさくクレヨン』なら、つるつるした牛乳パックにもスイスイ滑らかに、しかも色鮮やかに描くことができ、子どもが想像した世界がバッチリ表現できます。極太軸で握りやすいのもポイントです。

丈夫で汚れにくい  
クリアラベル巻き



牛乳パックのつるつとした面にも鮮やかに描けます。

セロハンテープで  
持ち手をつけます



はさみで  
チョキチョキ!



破線部分を  
切り取って左図のように  
開きます

## 4 『水性クレヨンニス』で仕上げよう



仕上げに『水性クレヨンニス』を塗りましょう。クレヨンで描画した上から刷毛でサッと塗って乾かすだけで、表面がコーティングされてクレヨンの色移りを防げます。ニスは乳白色ですが、乾燥すると無色透明になり、ツヤのある塗膜になります。作品にツヤが出ることで、ワンランク上の仕上がりになるのも子どもには嬉しいもの。今回は牛乳パックに塗りましたが、もちろん画用紙に描いた場合でもお使いいただけます。

ツヤツヤ・サラサラの仕上がり!



色落ち、べたつき、手や衣服の汚れを防ぎます。



ニスはつけすぎず、スーッとまっすぐ刷毛を動かすのがポイント。

## 5 コマを回して遊ぼう!!

世界に一つだけのコマが完成しました。回してみると、描いた絵の色が混じりあって見えるのもおもしろい! 小さな子どもたちにとって、牛乳パックを切り開いて絵を描くことや、ニスを塗るのは初めての経験かもしれません。用途にあった使いやすい用具を選んで、子どもの『できた!』という小さな成功体験が積み重ねられることを願っています。



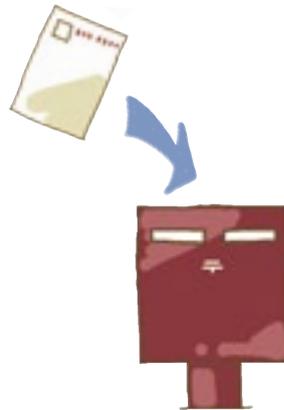
完成!



## せいさく2

『せいさくクレヨン』と『水性クレヨンニス』で絵手紙を送ろう!

はがきにクレヨンで描いた絵を郵送したいけど、手や他の郵便物に色が移ってしまうのが心配! そんな時『水性クレヨンニス』を上から塗れば、表面が保護されるので色移りを気にせず安心してポストに投函できます。子どもたちがクレヨンでのびのび描いた絵を年賀状や敬老の日のプレゼントに送ってみてはいかがでしょうか。



ニスを塗れば、色移りの心配なく送れます



はがきにクレヨンで絵を描きます。



仕上げにニスを塗ります。



完成!

いろいろな個性があって、だからすばらしい

# 『11ぴきのねこ』 馬場のぼるの世界

とらねこ大将率いる10匹のねこたち。好奇心旺盛で、欲張りで、どこか間の抜けたねこたちは、いつの時代も人気者。  
馬場のぼる氏によるユーモアあふれる絵本は、1967(昭和42)年の誕生以来、多くの人に愛されてきました。



『11ぴきのねことぶた』こぐま社刊より

## 『11ぴきのねこ』シリーズ

1967年の『11ぴきのねこ』から、1996年の『11ぴきのねこ どんどこ』まで、全6作の大人気シリーズ。『11ぴき』という半端な数である理由は、馬場さんが『11』という数字や『びき』という破裂音が好きだったことから。1ぴきのとらねこ大将と、10ぴきのねこたちが愉快なストーリーを繰り広げる。



## 馬場のぼる Noboru Baba

1927年青森県生まれ。1949年に上京し漫画家としてスタート。児童漫画から大人向け漫画まで幅広く執筆。漫画で活躍した後、『きつね森の山男』で絵本デビュー。『11ぴきのねこ』シリーズなど、数々の人気絵本を世の中に送り出した。1995年に紫綬褒章を受章。2001年没。



## 世代を超えて愛される ミリオンセラー

いつも興味しんしん、ダメと言われてもみんんでニャゴニャゴ突き進み、食欲でするいところもいっぱいある。あらあら？ なんだか人間界と似ているみたい——とらねこ大将を先頭に、ねこたちがどたばたの珍騒動を繰り広げる『11びきのねこ』。1967年の絵本第一作目『11びきのねこ』から、1996年の『11びきのねこどろんこ』まで、全6作の大人気シリーズです。

ねこたちがとんでもないことをしでかすたびに、読者はハラハラさせられますが、いつの間にか、自分が12ひき目のねこになった気分で、一緒にニャゴニャゴ楽しんでしまう。そこに、世代を超えて愛される理由があるのかもしれない。

## 上京して漫画家デビュー 児童漫画から絵本の世界へ

『11びきのねこ』の作者・馬場のぼるさんは青森県で生まれ育ち、さまざまな職を経て戦後に上京。『ボストくん』で漫画家デビューしました。その後『プウタン』で第一回小学館漫画賞を受賞。手塚治虫さん、福井英一さんらとともに、児童漫画界の三羽ガラスと呼ばれるほどの人気を博します。とくに手塚治虫さんとは親交が深く、二人は長年に渡って

無二の親友でもありました。

1964年に『きつね森の山男』で絵本の世界へ。その3年後に『11びきのねこ』が誕生します。ねこたちの人気は、海外にも広く波及。全長約3mになる『絵巻えほん11びきのねこマラソン大会』は、イタリアの子どもたちが選ぶ、イタリア・ボローニャ国際児童図書展のエルバ賞を受賞しました。

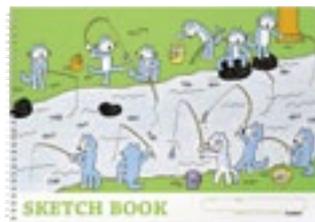
## 子どもたちに、いずれ味わう 人生のホロにがさを伝えたい

漫画でも絵本でも、のびやかなタッチ、ちよっぴり毒のあるユーモア、奇想天外なオチなど、独特の作風は、生涯変わることのなかった馬場さん。『11びきのねこ』という作品について、馬場さんは生前、読者である子どもへの親に向けて「絵本のすべてがほのぼのと心温まるお話ばかりでは、かえって子どもに対して不親切というもの」「世の中は万事もくろみ通りに運ぶとは限らない。——中略——いずれ味わうことになる人生のホロにがさを、もう今のうちに、お子様たちにお知らせしておいた方がグツとためになるのではないか」と語りかけていました。

いろいろなことが起こる毎日だけど、生きるってやつぱりすばらしい『11びきのねこ』シリーズで展開されるドラマは、まさに私たちの人生そのものなのです。

## 『11びきのねこ』と一緒に、のびのび楽しい園生活を

『11びきのねこ』シリーズが、2015年度の「あゆみ」「じゆうが」第2弾として登場。絵本の中でねこたちが繰り広げる印象的なシーンや、個性豊かなキャラクターたちがせいぞろい。7作の絵本からのイラストが使われているのか、探してみるのも楽しそう。使うたびに物語の世界に惹きこまれ、園生活がより楽しくなりそうです。



じゆうがB4  
(さかなつり)  
390円(税込)

あゆみ  
(スマイル)  
390円(税込)



あゆみシール  
(スマイル)  
247円(税込)



蛇腹式のページを開くと、なんと全長3mの絵巻えほんに!

ねこの国のマラソン大会がスタートです。一生懸命走るねこ、気球に乗るねこ、テントで一休みのねこ、ごはんを食べるねこなど、楽しい発見がいっぱい。「あゆみシール」のイラストにも使われています!

『11びきのねこマラソン大会』  
こぐま社刊

SINCE 1966  
 子どもたちに  
 愛され続ける教具  
**Bブロック**

1966年に誕生して以来、  
 時代に合わせて進化を続けてきたBブロック。  
 愛され続ける理由である3つのポイントと  
 新しく追加された2つのポイントをご紹介します。



**POINT 1**  
**JUST SIZE**

ジャストサイズ

低年齢児でも持ちやすく安全なサイズです。



**POINT 2**  
**MATERIAL**

ソフト素材

柔らかく弾力性がある素材を使用しているの、割れにくく高耐久です。



**POINT 3**  
**WHEEL**

車輪ブロック

乗り物をつくるには欠かせない車輪ブロック。組み立てた車や電車を走らせることができます。



**NEW!**

**POINT 4**  
**JOINT PARTS**

ジョイントパーツ

360度回転する、着脱式のジョイントパーツが新しく加わりました。動物の間接など、より立体的な造形がつけられます。



**NEW!**

**POINT 5**  
**COLORING**

きれいなカラーリング

水・空・茶・うす茶のアースカラー(自然色)が追加され、色同士がきれいに響き合うカラーリングになりました。グラデーションなど表現の幅が広がります。



## でこぼこの手触りが楽しい、 石に描いた動物たち

キリン、ゾウ、ライオン、ウサギ、クマ、パンダ……。動物たちがぎやかに、大行進の真っ最中。童画作家の小野孝一さんが手がけた『ふれあい童画』から、今にもリズムカールな足音が聞こえてきそうです。

この絵が設置されているのは、湘南の海辺にほど近い、閑静な住宅街の一角にある、平塚学園松風幼稚園。木材をふんだんに使った温もりいっぱいの「あすなる絵本館」で、動物たちは、いつも園児たちが遊びに来るのを待っています。

「あ、でこぼこだー」「かわいいねー」絵本館にやってきた年中さんが、動物の絵をさわっています。『ふれあい童画』は、薄くスライスした石のキャンパスに直接絵を描き、子どもたちが自由にさわられるように加工した、ユニークな発想の絵画です。

大澤一之園長先生は、「本物の芸術品に直接ふれて親しめるように、小野先生と話し合いながら、子どもの目線に合わせた壁画を作りました。よい絵やよい本と出会い、子どもたちの毎日が豊かに、夢いっぱいになることを願っています」とこやかに語ります。かわいい動物たちと一緒に、園児たちは今日も、絵本の世界へ冒険にでかけます。



## 文化作品の ある風景

平塚学園 松風幼稚園様



kotori

ジャクエツABS食器ことり



食器に盛ったお料理に  
そっと寄り添うことりがかわいい♪  
やさしいデザインの食器が新登場！



ジャクエツ  
www.jakuettsu.co.jp

いぬはり通信バックナンバーは、ホームページに掲載中です